



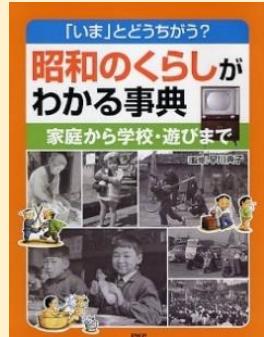


# 令和8年(2026年)は昭和元年(1926年)から満100年…。 100年前ってどんな時代？昭和～令和の変化を比べてみよう！

王寺町も2026年2月11日に  
町制100周年を迎えるよ！



## 『昭和のくらしがわかる事典』



早川 典子/監修 PHP研究所

暮らしが科学技術が大発展し、新しい生活のかたちが生まれた昭和時代。その暮らしが、いまどう違うのでしょうか。家庭から学校・遊びまでを、写真とイラストで紹介します。



## 『昔のお仕事大図鑑』

小泉 和子/監修 日本図書センター

和傘職人、駄菓子屋、蒸気機関士、電話交換手、炭坑夫…。明治・大正時代から昭和時代にかけてさかんだった87の仕事を、写真やイラストとともに紹介する。

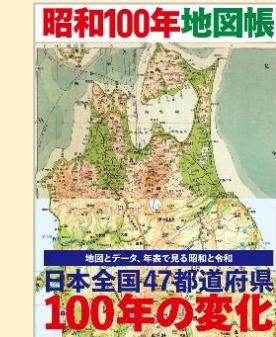
## 『消えゆくくらしのモノ事典』



岩崎書店編集部/編著 岩崎書店

黒電話、青焼き、二槽式洗濯機…。昭和～平成時代には活躍していたのに、最近ではあまり見かけなくなったモノを、写真を交えて紹介。つかい方/しきみ、消えゆく理由も説明する。

## 『昭和100年地図帳』 平凡社/編 平凡社



昭和元年当時を表す都道府県図と令和7年の都道府県図を掲載し、統計データや年表とともに、都道府県の100年の変化を振り返る。



## 『ポプラディアプラス日本の歴史 3 明治時代～現代』

ポプラ社



日本の歴史を学ぶ学習資料。明治時代～現代を時代別の6つの章に分け、時代のあらまし、同時代の世界のできごと、その時代に起きたできごとなどを豊富な図版とともに解説する。



## タイトルに100年がつく小説



## 『百年後、ぼくらはここにいないけど』

長江 優子/著 講談社

町は長い時をかけて人々が作りあげたジオラマ。中学生の健吾たちは地理歴史部(チレキ)で人々の思いに向き合い、百年前の渋谷のジオラマを作っていく。部活系青春小説。

## 『百年文通』 伴名 練/著 早川書房



女子中学生の小櫛一琉は、引き出しに入れた物が百年前に送られる不思議な机を発見する。机を通じて手紙を送ってきた大正時代の少女と文通をすることになるが…。

## 『百年厨房』 村崎 なぎこ/著 小学館



宇都宮の旧家に独り住む大輔。ある日アヤという若い女が現れ、大正時代にここで働いていたと言う。友人は「タイムスリップだ！」と騒ぐが、大輔は信じない。だが、アヤが作った冷やしコーヒーは…。



## 『100年のレシピ』 友井 羊/著 双葉社

著名な料理研究家・大河弘子が設立した料理学校に通う理央は、弘子の曾孫・翔吾と出会い…。100歳で亡くなった料理研究家の人生を各年代の時代背景とともに描いた連作ミステリー。

